



宝永小だより

No.9

福井市宝永小学校

令和7年7月16日

学校教育目標：ひとり立ちできる子 ～心身共にたくましく、進んで学び合い、高め合う児童の育成～
めざす児童像：進んで学び合える子・協力し合える子・心と体を鍛える子・ふるさとを大切にする子

6年生 模擬選挙にも挑戦 6月5日(木)

社会「国の政治のしくみと選挙」の学習で、選挙について学んだ子どもたちは、この日は、福井市選挙管理委員会の「明るい選挙出前授業」を受講し、「選挙〇×クイズ」などを通して、選挙のしくみや意義についてさらに詳しく学びました。そして、実際の選挙の際に使用している器具を用いて模擬選挙（架空の宝永市長選挙）を経験しました。子どもたちは、それぞれの公約を掲げる3人の候補者の政見放送を視聴し、3人の中から一人を選び、普通の紙とは異なる投票用紙に候補者の名前を記入し、実際の選挙で使われている投票箱に票を投じました。選挙を身近に感じることができていました。また、子どもたちは投票用紙を破ろうと必死に力を出しましたが、それ相応の力では破れることができない特別な紙でできていることも理解しました。



＜投票する子どもたち＞

なるほど・・・食に関する指導 6月6日(金)

本校では、〇〇〇〇 栄養教諭が毎月来校し、給食配膳の指導の他、各学級1時間ずつ、食に関する指導をします。今年度の予定は、次のとおりです。

- ・1年生「食事のマナー」 9月17日(水)
- ・2年生「やさいを食べよう」 7月16日(水)
- ・3年生「食べものはたらき」 12月12日(金)
- ・4年生「よくかんで食べよう」 1月9日(金)
- ・5年生「朝食の大切さ」 10月3日(金)
- ・6年生「ほねを丈夫にしよう」 6月6日(金)

初回は、6年生の子どもたちが「ほねを丈夫にしよう」をテーマに、カルシウムのはたらきやカルシウムが多く含まれている食品について学びました。まず、カルシウムは骨や歯の主成分であり、骨の強度を保ち、丈夫な歯を作るのに不可欠であることを理解しました。そして、人の同じ場所の骨であっても、発達段階で大きさや太さも異なるため、成長期には特に多くのカルシウムが必要とされることを教えていただきました。その後、多くのカルシウムを含む食品が紹介され、子どもたちは、その中からカルシウムが多く含まれていると思われる食品を9つ選び、各自のビンゴ表を作成しました。その後、栄養教諭からカルシウムが多く含まれている順に食品名が発表され、子どもたちはビンゴゲームを楽しみながら、カルシウムの効果的な摂取について、考えを深めていました。

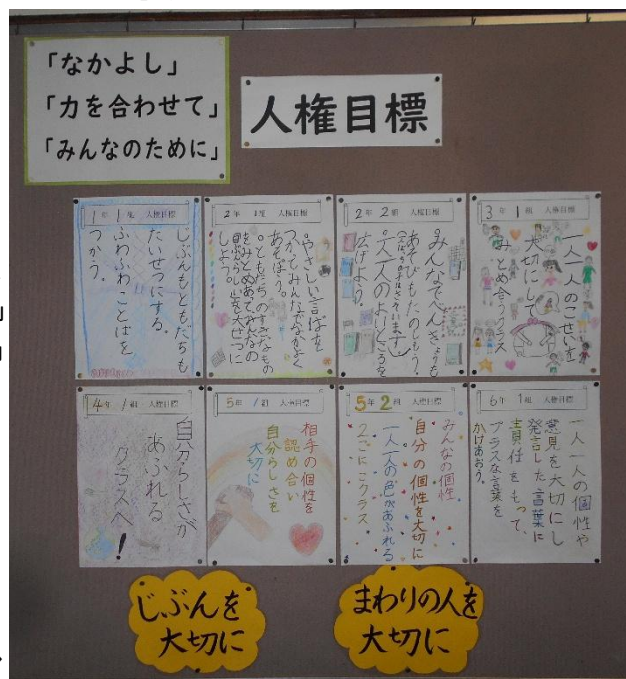
人権読み聞かせ、そして人権目標をつくる 6月10日(火)～

本年度の人権教育が始

まりました。まず、担当の教諭より、人権とは「人として自分らしく生きる」権利であり、「みんなそれぞれ、ちがってあたりまえ。じぶんらしく、生きていい」と、話がありました。その後、絵本「いろんな どもだち」の読み聞かせが行われました。この絵本は「背が高くても、小さくても、手が長くても、みんなそれぞれ困ったこともあるし、できることもある。互いの違いを認め合うことの大切さを教えてくれる」内容でした。「わたしもたいせつ みんなもたいせつ」という思いが、子どもたちの心に届いたはずで、そして、子ども一人一人が「友だちが傷つくことを言ったり、したりしていないかな?」「相手に対して言われてうれしいことばを使っているかな?」「クラスのみんなで仲良く活動できているかな?」などと、自分自身をふり返りました。

改めて、それぞれの学級で人権目標をつくるための話合いが行われ、各学級の人権目標ができあがりました。各学級の人権目標は、右の写真のとおりです。どの学級からも「わたしもたいせつ みんなもたいせつ」という思いが伝わってきます。

＜南校舎1階に掲示されている各学級の人権目標＞→



5年生 カードゲームで学ぶSDGs 6月11日(水)

福井市キャリア教育プログラム事業の一環として、SDGs 構築支援サスティナ代表 ○○○○ 様による「2030 SDGs カードゲーム」の授業が実施されました。子どもたちは経済・環境・社会の3つの側面から指定されたカードを集めてミッションをクリアするために、グループで試行錯誤しながら協力して活動に取り組みました。その中で、子どもたちは、「なぜ SDGs が私たちの世界に必要なのか」、そして「それがあることによってどんな変化や可能性があるのか」を体験的に理解していききました。そして、前半と後半の2回ゲームを行った後には、今日のゲームの内容が現実社会とどうつながっているのかという説明や、自分たちの小さな消費活動が環境に関わっているというお話を伺いました。



＜気づきを共有している場面＞

＜5年児童の感想＞カードゲームとは違って、現実では、多くの国が世界全体のことを考えて協力することは難しそう。

＜5年児童の感想＞SDGs は環境にやさしくすること、のようなぼんやりとしたイメージをもっていたが、授業を通して、経済、社会、自然が絡むものであることが分かった。

5年生 「地域 × SDGs」で探究 6月18日(水)

福井市キャリア教育プログラム事業の一環として、SDGs構築支援サスティナ代表 ○○○○ 様による「SDGs授業 ～課題探求～」の授業が実施されました。先週の授業を受けて、今回は、地域の気に入っているところ、改善できるところを出し合い、その中から自分が関心をもった事項を1つ選択しました。そして、その事項が SDGsのどの目標に関わるのか、また、選択した事項の改善できる点があれば、どのような改善策が考えられるのかを、他の地域における取組をインターネット検索で調べ、それを参考にしながら自分たちができることを考えました。さらに、子どもたちは4年生のときに学習を進めた「宝永 やさしさ たんけんたい」で、地域に出かけていって学び考えた「みんなにやさしい まちづくり」のことを思い出しながら、仲間と意見を交流して、各自が世界に一つだけのプロジェクトを生み出しました。このプロジェクトを元に、SDGsを身近なものとして、自分にできることを実践していくと期待しています。



＜地域のよいところ等を出し合う場面＞

3年生 育もう「伝える力」 6月13日(金)

福井市キャリア教育プログラム事業の一環として、福井青年会議所の皆様による「ちからプログラム ー伝えるカー」の授業が実施されました。これは、自分の気持ちを相手に正確に「伝える力」を育むためのプログラムでした。まずは、自分の気持ちを正確に表現するにはどのような言い方をしたらよいのかについて考えました。次に、自分が日常使っている言葉をふり返し、使わない方がよい言葉を考えていききました。相手がいやな気持ちになったり、悲しい気持ちになったりする言葉が、子どもたちから次々に出されました。その後、子どもたちは日常使わない方がよい言葉「NGワード」を使わずに一週間過ごせるか、保護者の方と取り組むことになりました。子ども一人一人が日頃の家族との関わりをしっかりと考え、各家庭で「NGワード」を決めて取り組んでいただきました。日常の会話の中で、「NGワード」を意識し、会話のキャッチボールを楽しめたでしょうか。ご協力、ありがとうございました。



＜ことばを出し合う場面＞

6年生 「ケアラベル」とは? 6月19日(木)

福井市キャリア教育プログラム事業の一環として、福井県クリーニング業生活衛生同業組合福井支部の皆様による「衣料品の洗濯品質表示(ケアラベル)の説明、アイロン・しみ抜きの実技」の授業が実施されました。まず、子どもたちは、衣料品の洗濯品質表示(ケアラベル)の意味と見方を学び、衣服のお手入れの方法等も教えていただきました。子どもたちは初めて知ることが多く、興味をもって聞き入っていました。また、特殊な薬品を使って目に見えない汚れ(汗・皮脂)を可視化された際には、たくさんの汚れが浮き出たことに驚く様子を見せ、子どもたちは洗濯の大切さを改めて感じていました。さらに、しみ抜きの実習では、実際に醤油とボールペンの汚れをどのように落とすのかを体験することで、子どもたちは身近なものを使って自分でもできたことに感動していました。



＜醤油のしみ抜きを体験する子ども＞

＜6年児童の振り返り＞

- ・色ものと白いものを一緒に洗うのはよくないと分かった。
- ・こすると生地が毛羽立ってしまうので、こするのはいくつと分かった。
- ・自分でもアイロンをかけたり、しみがついた時には今日教えてもらったことをやってみたりしたい。